令和３年度小中一貫教育だより　No２

チーム音戸

令和３年１２月２１日（火）

音戸中学校区
小中一貫教育推進協議会

令和３年度　音戸中学校区小中一貫教育について

【目指す児童生徒像】　ふるさとを愛し，自律できる児童生徒の育成

【研究主題】　主体的に学ぶ児童生徒の育成
～「育成すべき資質・能力」の向上をめざした単元づくり・授業づくりを通して～

２学期は，１年１０ヶ月ぶりに小中学校で一同に会しての交流行事を行うことができました。小中一貫教育だより第２号は音戸小学校で行われた合同授業研修会の様子をお伝えします。

音戸中学校区では，「考えたくなる課題設定」「考え，表出する場」「考えの変容を自覚させる工夫」を授業の中で設定することで，「ふるさとを愛し，自律できる児童生徒の育成」を目指しています。

１１月２５日（水）　３校合同授業研修会　４年　理科「ものの温度と体積」

授業は，４年生の理科で「ものの温度と体積」をしました。児童が興味を持って取り組めるよう「手作り温度計をつくろう」という課題をゴールにし，それに向けて空気・水・金属のあたたまる様子を，実験を通して調べ，比べながらその違いを考えていく学習です。研修会当日の授業では，「水」をあたためたり，冷やしたりする実験で水の様子を観察し，温度と体積の関係を考えました。

児童達は，タブレットを使って実験の様子を写真や動画で記録し，それをグループ内で送り合い結果を共有したり，考察したりしました。

４月のタブレット導入以来，その使い方にも慣れている児童達ですが，どのように使えば効果的に学習の理解を助けるものとなるのか，“慣れる”から“効果的に使う”へと次の段階へ向けて考えていく機会となりました。

今後も自ら学びたくなる課題をどのように設定していくのか，学習の目標を達成するためにどのようにＩＣＴを活用していくのかを研修を進めていきたいと思います。